

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ インフルエンザの定点あたり報告数は20.78となり、前週の25.81から減少しました。しかしながら、まだしばらくは流行が続きます。咳エチケット、手洗い、うがい等の感染予防対策を徹底してください。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が2例(70歳代男性及び70歳代女性)あり、症状は粘血便等、本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が3例(70歳代男性、40歳代及び80歳代女性)(第7週追加報告分含む)あり、本年の累積報告数は6例となりました。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、感染地域は国内で、感染経路は創傷感染です。本年2例目の報告です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・菌血症で、感染地域は国内、感染経路は接触感染です。本年の累積報告数は15例となりました。
- ・ 水痘(入院例)の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は発熱・発疹で、感染地域は国内です。本年初めての報告例となりました。
- ・ 梅毒の報告が4例(30歳代男性2例及び20歳代女性2例)(第7週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は14例となりました。

◆ 今週のトピックス: <梅毒>

京都市の平成30年における梅毒の累積報告数は第8週までで14例(男性8例、女性6例)となり、昨年同時期の6例を上回るペースで報告が増えています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性なし
【1月以降の累積報告数 46例(肺結核 19例, その他結核10例, 潜在性結核感染者 17例)うち喀痰塗抹陽性 8例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)2例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 15例】
- ・ 五類:水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:梅毒 4例【1月以降の累積報告数 14例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	20.78	1,434
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.77	205
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.30	56
	③ 突発性発しん	0.26	11
	④ RSウイルス感染症	0.12	5
	⑤ 咽頭結膜熱	0.09	4
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <梅毒>

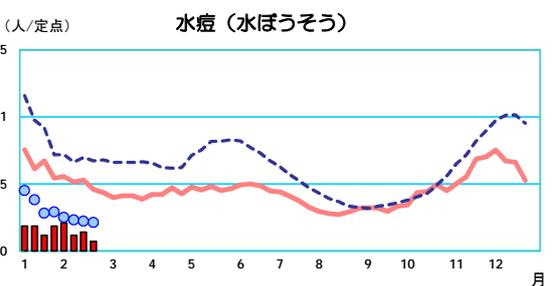
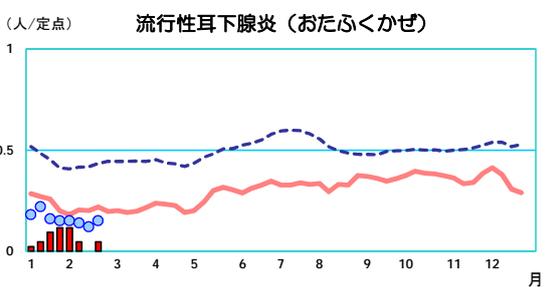
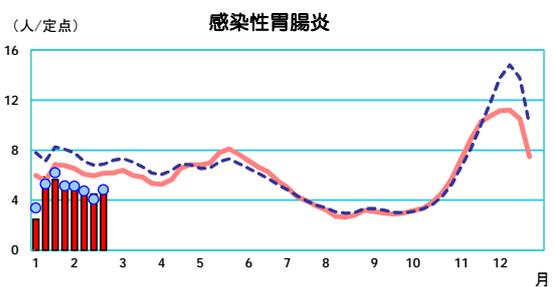
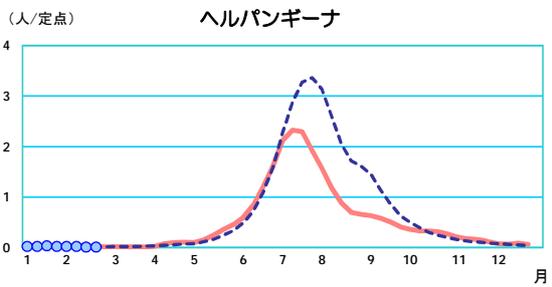
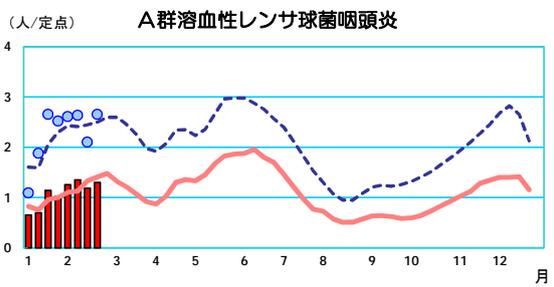
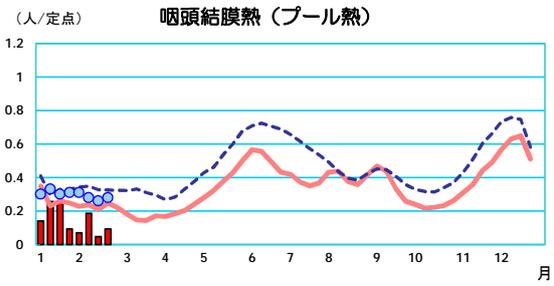
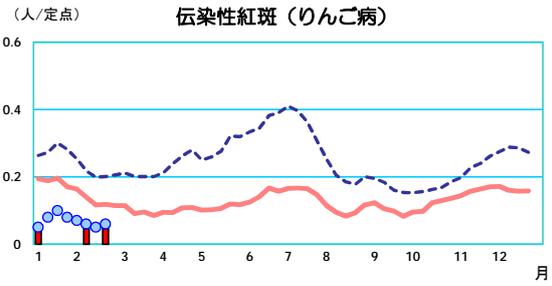
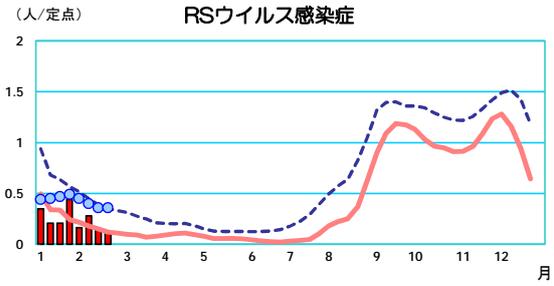
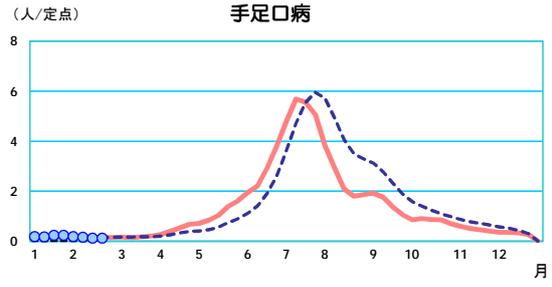
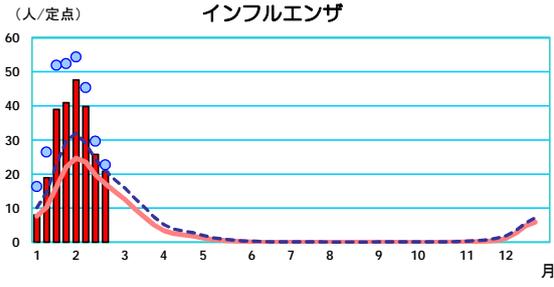
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年2月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第8週(2月19日～2月25日)トピックス: <梅毒>

■京都市及び全国の発生動向

京都市の平成30年における梅毒の累積報告数は第8週までで14例(男性8例, 女性6例)となり, 昨年同時期の6例を上回るペースで報告が増えています。梅毒の報告数は年々増加の一途をたどっており, 京都市では最近5年間で10倍近くに増加している上に, 本年はさらに報告数が増えそうな勢いです(図1)。全国でも同様の傾向が見られ, 過去10年間に男性は8倍, 女性は10倍以上の報告数になっています(図2)。京都市の年齢階級別報告数を最近5年間でみると, 男女とも20歳代から40歳代が大半を占めており, 特に20歳代女性の報告数は4年前まで報告がなかったのが, 昨年は20歳代男性の報告数を上回り, 著しく急増しています(図3)。梅毒急増の背景には, 海外との人の往来を含めて, 不特定多数との性行為の増加があると考えられています。

■予防

感染部位と粘膜や皮膚が直接接触をしないように, コンドームを使用しましょう。ただし, コンドームが覆わない部分でも感染がおこる可能性があります。皮膚や粘膜に異常があった場合は, 早めに医療機関を受診しましょう。

京都市では, 平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

図1 京都市の月別累積報告数(平成25年～平成30年8週まで)

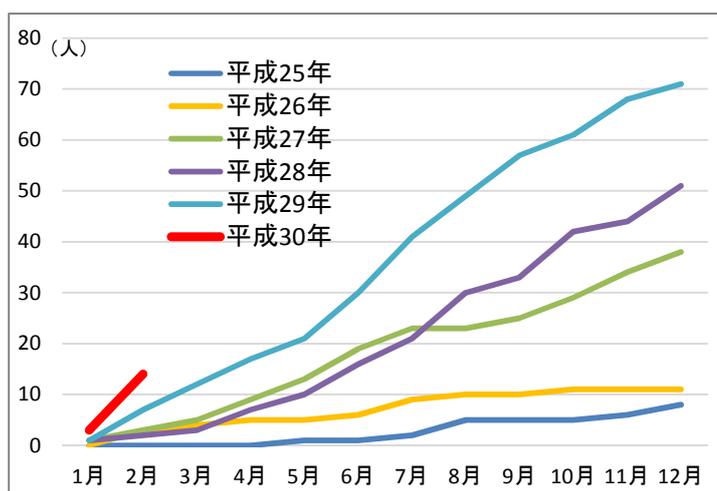


図2 全国の報告数の推移(平成20年～29年)

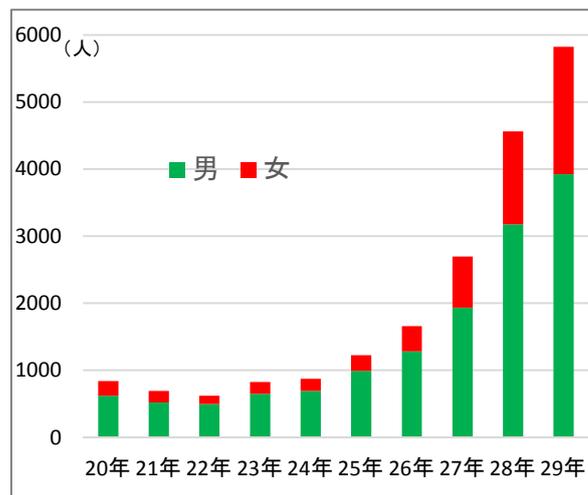
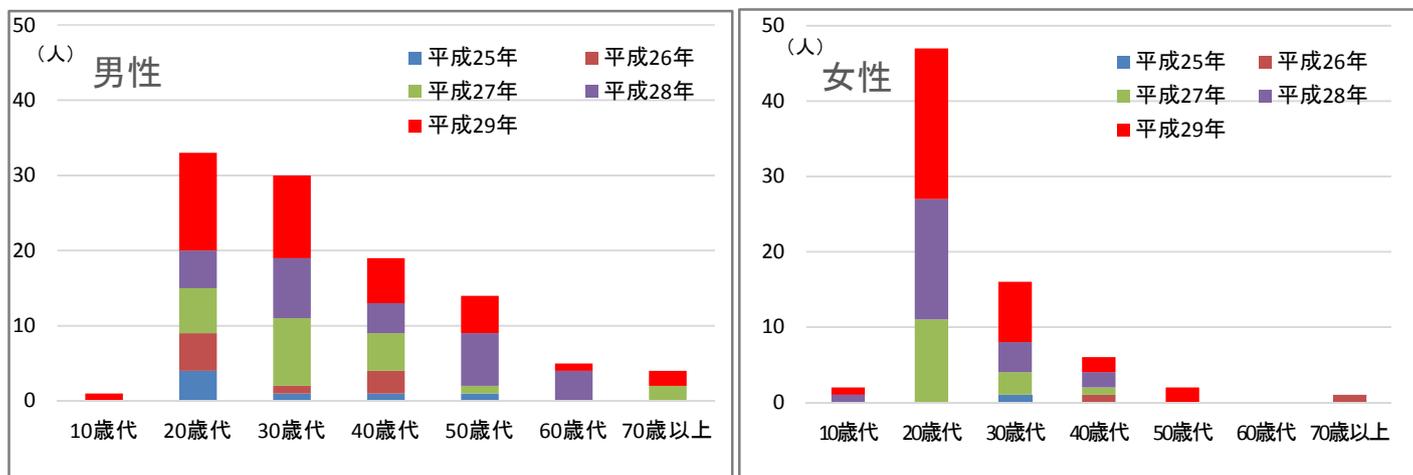


図3 京都市の性別, 年齢階級別の報告数(平成25年～29年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第8週

疾病,行政区別報告数

平成30年2月19日～平成30年2月25日

データ入手日:平成30年2月28日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	54	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1						
上京	101	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-						
左京	179	-	-	7	54	-	-	-	2	-	-	-	-						
中京	84	-	-	7	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	66	1	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	128	-	-	1	6	-	-	1	1	-	1	-	-						
下京	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	169	-	1	2	13	-	-	-	2	-	-	-	-						
右京	173	3	1	15	20	2	1	-	-	-	1	-	1						
伏見	290	1	2	7	46	1	-	-	5	1	-	-	-						
西京	167	-	-	15	30	-	-	1	-	-	-	-	-						
京都市計	1,434	5	4	56	205	3	1	2	11	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	7.71	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	20.20	-	-	0.33	1.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-						
左京	25.57	-	-	1.75	13.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
中京	16.80	-	-	2.33	4.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	22.00	0.50	-	0.50	8.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	18.29	-	-	0.20	1.20	-	-	0.20	0.20	-	0.20	-	-						
下京	7.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	33.80	-	0.33	0.67	4.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-						
右京	21.63	0.60	0.20	3.00	4.00	0.40	0.20	-	-	-	0.20	-	1.00						
伏見	26.36	0.14	0.29	1.00	6.57	0.14	-	-	0.71	0.14	-	-	-						
西京	20.88	-	-	3.00	6.00	-	-	0.20	-	-	-	-	-						
京都市計	20.78	0.12	0.09	1.30	4.77	0.07	0.02	0.05	0.26	0.02	0.05	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象：平成30年第8週

年齢階級，疾病別報告数

平成30年2月19日～平成30年2月25日

データ入手日：平成30年2月28日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	1,434	1	13	53	47	76	108	86	115	69	73	65	201	71	77	76	110	76	48	41	28	
RSウイルス感染症	年齢3	5	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		56	-	1	3	6	1	4	7	6	7	5	5	7	1	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		205	1	14	34	15	15	18	13	13	8	5	8	18	15	28	-	-	-	-	-	-	-
水痘		3	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	20.78	0.01	0.19	0.77	0.68	1.10	1.57	1.25	1.67	1.00	1.06	0.94	2.91	1.03	1.12	1.10	1.59	1.10	0.70	0.59	0.41	
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.09	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.30	-	0.02	0.07	0.14	0.02	0.09	0.16	0.14	0.16	0.12	0.12	0.16	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.77	0.02	0.33	0.79	0.35	0.35	0.42	0.30	0.30	0.19	0.12	0.19	0.42	0.35	0.65	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.07	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.05	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第8週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年2月28日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2,688	2,827	3,287	2,747	1,781	1,434
RSウイルス感染症	9	19	7	12	6	5
咽頭結膜熱	11	4	3	8	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	44	54	58	51	56
感染性胃腸炎	242	220	229	209	193	205
水痘	5	8	9	5	6	3
手足口病	6	10	3	4	1	1
伝染性紅斑	-	-	-	2	-	2
突発性発しん	10	14	20	9	9	11
ヘルパンギーナ	-	2	-	1	-	1
流行性耳下腺炎	4	5	5	2	-	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	3	5	6	1	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3,029	3,156	3,622	3,063	2,050	1,726

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	38.96	40.97	47.64	39.81	25.81	20.78
RSウイルス感染症	0.21	0.44	0.16	0.28	0.14	0.12
咽頭結膜熱	0.26	0.09	0.07	0.19	0.05	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	1.02	1.26	1.35	1.19	1.30
感染性胃腸炎	5.63	5.12	5.33	4.86	4.49	4.77
水痘	0.12	0.19	0.21	0.12	0.14	0.07
手足口病	0.14	0.23	0.07	0.09	0.02	0.02
伝染性紅斑	-	-	-	0.05	-	0.05
突発性発しん	0.23	0.33	0.47	0.21	0.21	0.26
ヘルパンギーナ	-	0.05	-	0.02	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.09	0.12	0.12	0.05	-	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.30	0.50	0.60	0.10	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	47.27	48.85	55.81	47.62	32.14	27.73

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。